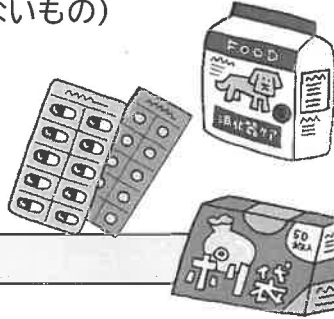


ペットのための持出品リスト

ペットの健康や命にかかわるもの

- 最低5日分のペットフード（できれば7日分）
- 食器
- 療法食、投薬中の薬
- ケージ・キャリーバッグ
- 首輪・リード（伸びないもの）
- ペットシーツ
- 排泄物の処理用具
- 犬の場合は愛犬手帳

避難所にペット用の食料の備蓄はありません。



山折り②

ペット用品

- タオル・ブラシ
- ウェットタオルや洗浄綿
- ビニール類
- ガムテープ・マジック
- お気に入りのおもちゃ



山折り①

被災を免れた親戚やペットホテルなどにペットを預ける。預け先の条件や期間、費用などを事前に確認しておく。

④ 親戚や施設などに預ける

ペットだけを車中に残すときは、車内の温度を常に注意し、十分な飲み水を用意しておく。長時間、車を離れる場合には、ペットを安全な飼育場所に移動させる。

③ 車中避難（車の中の飼育）

同行避難するペットはケージに入れる。避難所に設置されたペット飼育スペースで、各避難所が定めたルールに従い、飼い主が責任をもって世話をする。避難所の飼育環境の維持管理には、飼い主同士が助け合い、協力することが必要。

② 同行避難（避難所での飼育）

避難所生活に比べて、環境の変化が少なく、ストレスが軽減できます。災害情報に注意を払いながら、二次災害の危険があるときは同行避難する。

① 在宅避難（自宅での飼育）

災害の種類や被災状況を踏まえて、ご自身とペットの安全を優先して、次のような選択肢から適切な飼育環境を選択しましょう。

避難中のペットの飼育環境

愛犬の名前

ペット防災手帳

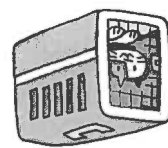
災害時に、愛犬と一緒に避難するためには、**飼い主さん自身による日頃からの準備が重要**です。この手帳に愛犬の情報をあらかじめ記入しておき、災害時にいつでも持ち出せるようにしましょう。



指定避難所等に犬用の備蓄は無く、犬の受入場所は屋外が多いワン。飼い主さんの備えだけが頼りだワン。

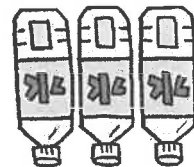


避難者とペットは同じ場所で生活できません！



- 首輪、鑑札、迷子札を装着する
- 狂犬病予防注射やワクチン接種
- 基本的なしつけをする
- 不用意に吠えないようにしつける
- ケージに入ることにごろごろから慣らす

愛犬のしつけと健康管理



- 近所の方と顔の見える
- 家庭内の連絡方法の確認
- (避難所におけるペット受入の可否を確認)
- 避難する場所や経路を確認
- 食料や水など備蓄品の準備
- 家具の固定、転倒防止、落下防止
- ハザードマップで地域の危険性をチェック

まずは飼い主自身の安全確保

普段、飼い主が備えること